

自治医科大学消化器内科学教室同門会会報 (No. 6)

仲秋の候、皆様にはますますご健勝のことお慶び申し上げます。

さて、第6回同門会が平成17年9月4日(日)宇都宮市のホテルニューイタヤに於いて開催されました。参加者は例年通りの70名弱(OBの先生方が3割、医局員7割)で、充実したセミナー、特別講演に引き続いて懇親会が行われました。以下にその概要をご報告いたします。

(1) 同門会セミナー

今回は各臓器グループのミニレクチャーと特別講演が行われました。自治医大で盛んに行われているESD(粘膜切開剥離法)やダブルバルーン内視鏡を中心にビデオとスライドを使用した分かりやすい内容のレクチャーでした。特別講演は自治医大感染・免疫学講座細菌学部門の平井義一教授より『内視鏡洗浄消毒機の細菌汚染』と題してご講演を頂きました。普段、我々が任せきりになっている洗浄消毒機ですが、内部の至る所に細菌が入り込んでいる実態には驚かされました。配管内に存在する細菌への対応、各種消毒液の長所と短所など、細菌対策に関して大変勉強になるご講演でした。



(2) 同門会総会

昨年度会計報告と今年度の幹事会での決議事項(下記)が報告されました。

1. 改定した同門会会則の内容確認
2. 総会参加費の見直し
3. 同門会誌の発行時期の見直し、内容確認
4. 来年開催の国際学会(組織委員長:菅野教授)への支援に関して
5. 来年度の同門会総会開催日の確認
6. 新幹事の推薦

内容

1. 改定した同門会会則の内容確認

昨年総会で了承された改定会則の内容確認。大まかには、従来の会則に第一章総則から第六章雑則まで大きな項目を設け見やすくし、また、施行細則を設け、会費等の設定を幹事会レベルで決定できるように改定。

2. 総会参加費の見直し

ここ数年間の総会収支を検討した上で、正会員一人あたり 10,000 円から 12,000 円の範囲で運営することとした（従来 15,000 円）。

3. 同門会誌の発行時期の見直し、内容確認

- ・会計報告は、総会を通したものを掲載する。
- ・集合写真は、前年の写真を載せるのではなく当該年の写真を掲載する。

以上の点から、発行時期を総会后（10月中を目安）とする。

- ・創刊号の内容を維持し、新たに消化器内科の沿革を加える。

4. 来年開催の国際学会（組織委員長：菅野教授）への支援に関して

来年8月末、菅野教授が組織委員長として開催される国際学会（第16回生理活性ペプチド国際シンポジウム）に対する支援。これは運営費の一部（シンポジウム運営に要する予算総額 5,318 万円のうち、参加登録料、助成金、出展広告料等を除く 1,700 万円）を寄付金によって賄うもので、同門会会員にも募金協力呼びかけ。会員には既に募金趣意書を郵送済み。

5. 来年度の同門会総会開催日の確認

上記国際学会開催のため、9月第二週の土曜日（9月9日）を予定。

6. 新幹事の推薦

幹事会から今市病院院長の熊谷眞知夫先生を新幹事として推薦。総会において承認を得た。

（3）懇親会

懇親会に先立って記念撮影が行われました。同門会誌発行時期を遅らせることで今回から記念写真は同年度の会誌に掲載されます。

懇親会は会長の山中桓夫先生の挨拶、幹事の田中昌宏先生による乾杯で始まりました。参加者は58名で現医局員が38名、OBが19名で特別講演にお招きした平井先生もご参加下さいました。途中、スライドによる新入会員（新入医局員2名と後期研修生5名）の紹介、更にOBの先生方の近況報告を頂きました。最後に菅野教授の挨拶で会は終了しました。

係の不手際で二次会の参加者が少なかったものの盛況のうちに会を終了しました。



事務局より

今年度から同門会費は終身一括納入となりました。このため年会費の請求は行いません。終身会費をまだ納めていない方には事務局から改めて請求させていただきますのでご了承下さい。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成17年10月

自治医科大学消化器内科学教室同門会

事務局長 田野茂夫